

# 三県架橋建設促進・長島町町制施行10周年記念事業

## 第30回カヌー長島海峡横断大会



↑牛深ハイヤ橋を背にゴールを目指す選手ら



↑約2時間かけて無事にゴール！

児童・生徒の健全育成と、島原・天草・長島間の三県架橋構想の実現に向け気運を高めるための活動の一つとして、第30回カヌー長島海峡横断大会が8月22日、開催されました。

今回は、三県架橋構想で架橋の経由地である熊本県天草市、長崎県南島原市の児童生徒ら14人も初めて参加。さらに、熊本県玉名市、与論町からも8人が加わり、本町の児童生徒24人と合わせて46人が、ゴールの蔵之元港を目指しました。

選手たちは、応援に駆け付けた家族らから声援を受けながら、11時30分に牛深港を出発し、9隻の救助船が見守る中、力強く海面を漕ぎ進みました。

時より潮の流れやうねりで苦戦しながらも、長島海峡を横断するフェリー「第2天長丸」からのエールを受け、中間点で小学生は選手交代。予定より約30分早い、午後1時30分頃には、蔵之元港へ全員が無事にゴールし、三県架橋の建設促進をアピールしました。

# 長島町町制施行10周年記念事業

## 子どものための科学の祭典

### 「小惑星」「長島町」命名記念式典で開幕

8月22日、23日の2日間、町開発総合センターと総合町民体育館で「子どものための科学の祭典・長島2015」が開催されました。

式典では、認定証の贈呈式が行われ、その後、渡辺和郎さんと、寺門邦次さん両氏による記念講演会が行われました。

祭典は、小惑星「長島町」命名記念式典で開幕しました。

この小惑星(14850)は、天文家の渡辺和郎さん(札幌市)らが1989年に発見し、今日まで固有名が付けられていませんでした。しかし、元JAXA職員の寺門邦次さんの仲立ちで、「Nagashimacho(長島町)」と命名、国際天文学連合に登録されました。

講演会終了後、総合町民体育館では鹿児島市立科学館、大学講師、近隣の公立高等学校、町内の小中学校の先生方、東町漁協などの協力を得て「みる・さわる・つくるコーナー」の各講座が開講。26のブースが出展され、参加したのべ470人の児童生徒らは、興味のある思い思いの講座に参加し、多種多様な体験を楽しんでいました。



↑認定書を手にする渡辺和郎さんと川添町長



↑洗濯のりと水・ホウ酸水を使ったスライム作り